

Identifying Energy Efficient Urban Planning Approaches for Kathmandu Based on Influence of Urban Form on Travel Energy Consumption

サリタ, マハラジャン

<https://hdl.handle.net/2324/2236003>

出版情報 : Kyushu University, 2018, 博士 (工学) , 課程博士
バージョン :
権利関係 :

氏 名	Sarita Maharjan	
論 文 名	Identifying Energy Efficient Urban Planning Approaches for Kathmandu Based on Influence of Urban Form on Travel Energy Consumption (都市環境による移動エネルギー消費への影響評価に基づくカトマンズ市の低環境負荷型都市計画手法に関する研究)	
論文調査委員	主 査 九州大学	准教授 鶴崎直樹
	副 査 九州大学	教授 趙 世晨
	副 査 九州大学	准教授 デビガルティアプラサナ
	副 査 九州大学	准教授 外井哲志

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本論文は、発展途上国ネパールにおいて急速に成長するカトマンズ市について、我が国の地方中枢都市である福岡市と比較し、両都市の都市環境および都市内移動動態の特性の把握とともに省エネルギーを観点とする都市空間の区分、移動エネルギー消費量に影響する都市環境要素等を明らかにしたものである。それにより、都市環境と都市内移動動態における両都市の共通点と相違点とを明らかにするとともに、低環境負荷型都市としてのカトマンズ市の都市環境構築のための手法とターゲット、およびそのエネルギー消費削減効果等が明らかとなった。これらの知見は、今後のカトマンズ市の都市計画や発展途上国の都市計画に対する有益な示唆を与えるとともに都市計画学に関する重要な知見を得たものとして、価値ある業績である。

よって、本論文は博士（工学）の学位に値するものと認める。